

東京都中小企業の景況

(平成 25 年 4 月調査)

平成 25 年 4 月 22 日

業況：2か月連続で上向き
見通し：模様眺め

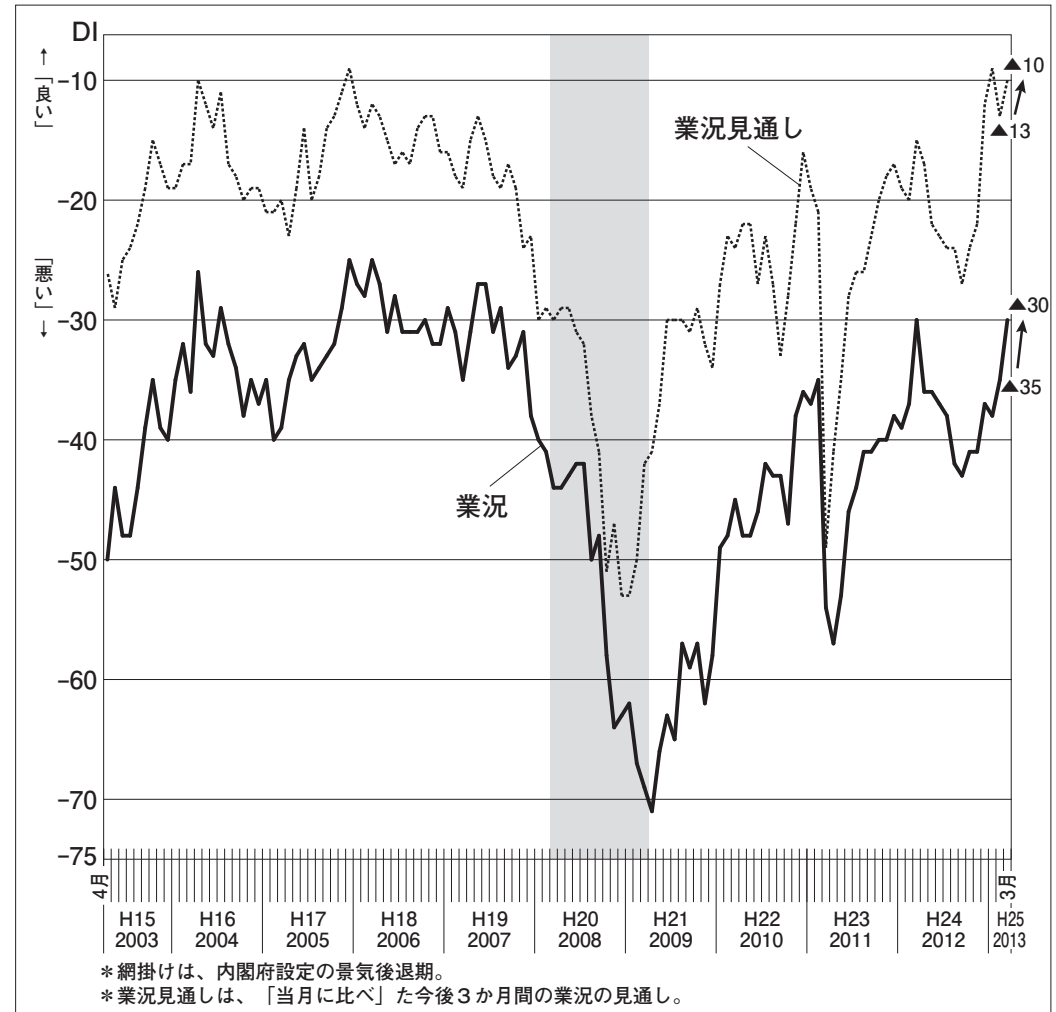
産業労働局 商工部

《3月の景況》

- 3月の都内中小企業の業況DI（業況が「良い」とした企業割合－「悪い」とした企業割合）は、当月▲30（前月▲35）と5ポイント増加、2か月連続で上向き、昨年3月（▲30）の水準に戻した。また、今後3か月間（4～6月）の業況見通しDI（当月（3月）に比べて「良い」とした企業割合－「悪い」とした企業割合）は、全業種の改善により、当月▲10（前月▲13）と3ポイント増加したが、前々月（▲9）をわずかに下回り、一進一退で模様眺めの状況にある。
- 業種別の業況DIをみると、前月大きく踏み出した製造業（▲31→▲29）は、当月2ポイントの増加。一方、緩やかな動きが続いた卸売業（▲41→▲31）は、当月大きく踏み出し、2007年7月（▲31）の水準と並んだ。また、小売業（▲47→▲46）は、前月5か月ぶりに後退したものの、当月横ばいで踏み止まった。前月反転したサービス業（▲25→▲17）は、当月一段と改善し、2007年1月（▲17）の水準と並んだ。
- 業種区別の業況DIをみると、製造業では、前月に引き続き当月も大幅に改善した「住宅・建物関連」（▲31→▲19）と、当月わずかに改善した「電気機器」（▲19→▲17）が先行している。卸売業では、「衣料・身の回り品」（▲38→▲41）を除く5つの業種区分で改善した。特に「食料品」（▲53→▲43）と「日用雑貨」（▲59→▲34）が、ともに前月の反動で大幅に改善したほか、「化学・金属材料」（▲37→▲24）は4か月連続で改善し堅調な動きを見せている。小売業では、「耐久消費財」（▲26→▲51）が2か月連続改善から一転急落し、3か月前（▲53）の水準に戻った。一方、「衣料・身の回り品」（▲48→▲33）、「余暇関連」（▲59→▲40）、「日用雑貨」（▲38→▲30）が改善した。サービス業では、「企業関連サービス」（▲20→▲14）と「個人関連サービス」（▲35→▲23）がともに改善した。
- 前年同月比売上高DI（▲39→▲32）は、2か月連続で計12ポイント増加した。業種別にみると、製造業（▲38→▲37）が横ばい、卸売業（▲40→▲31）、小売業（▲49→▲42）、サービス業（▲30→▲18）がともに改善した。
- 前月比仕入単価DI（9→9）は横ばいで、上昇傾向が一服した。業種別にみると、製造業（14→14）も横ばいで、動きが止まった。
- 業種別の業況見通しDIは、製造業（▲11→▲8）は2006年11月（▲8）の水準と並んだほか、卸売業（▲9→▲5）は2006年1月（▲4）の水準に近づき、ともに歩みを進めた。また、小売業（▲20→▲18）、サービス業（▲12→▲10）も増加、全業種で改善した。

業況 DI・業況見通し DI（全体）

(季節調整済DI)



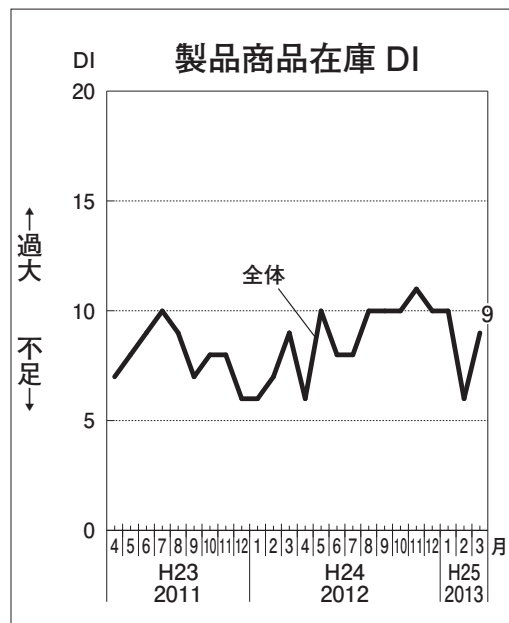
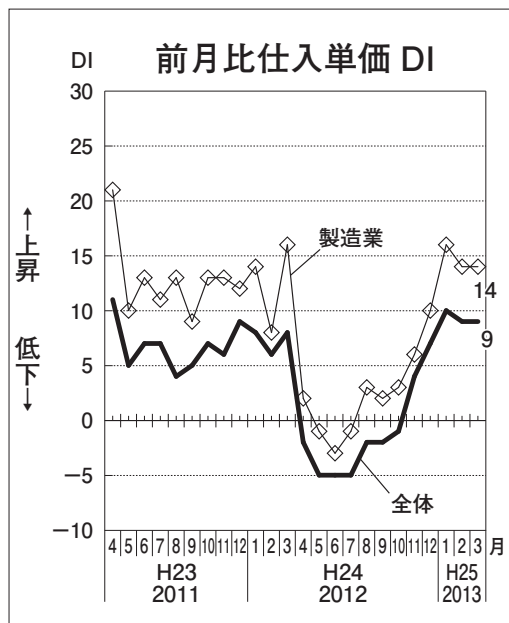
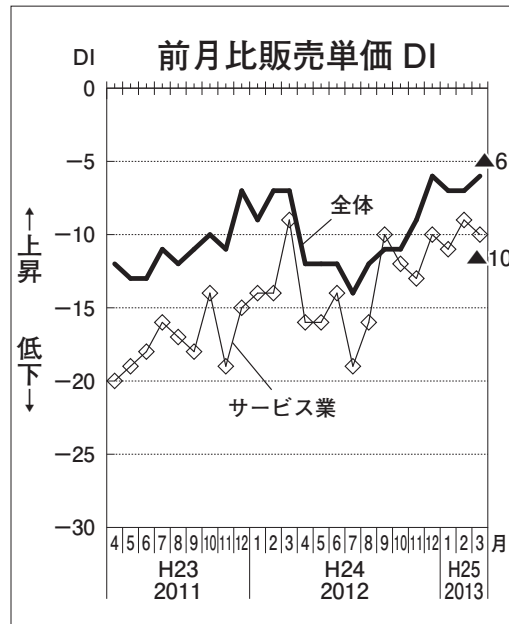
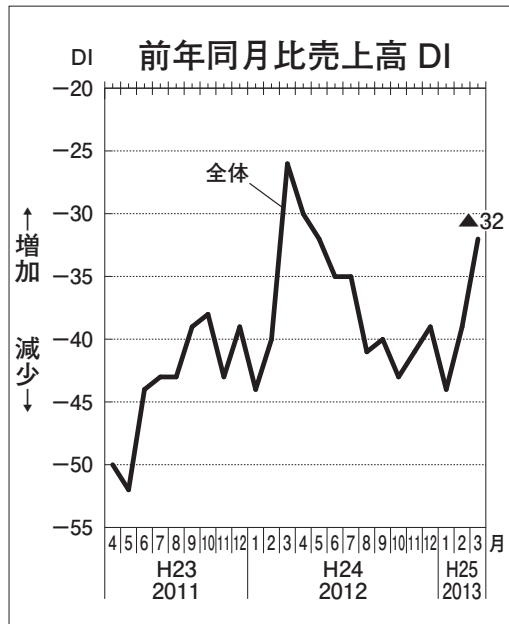
◇ DI (Diffusion Index: 景況判断指数) X: 「良い」「増加」「上昇」等の回答企業数
指数(%)の算出方法は次のとおりで Y: 「普通」「ほぼ同様」等の回答企業数
ある。 Z: 「悪い」「減少」「低下」等の回答企業数
従って、DIのプラスは景況の好転(売上高の増加等)、
マイナスは景況の悪化(売上高の減少等)を表している。

$$DI = \frac{X - Z}{X + Y + Z} \times 100$$

(注) 調査票回収期間 平成 25 年 4 月 1 日～4 月 8 日

登録番号 (24) 237

主な景況指標 D I



注) 前月比販売単価 DI、前月比仕入単価 DI、製品商品在庫 DI は季節調整済 DI。

景況指数表 (業種)

・指標値 (%) : DI = 「良い」・「増加」等企業割合 - 「悪い」・「減少」等企業割合

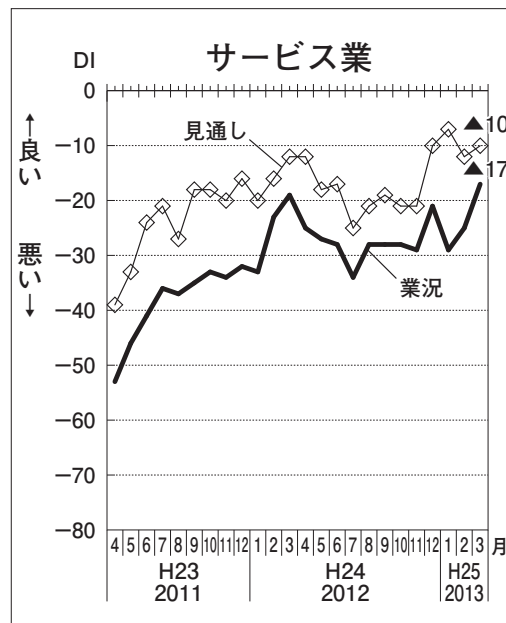
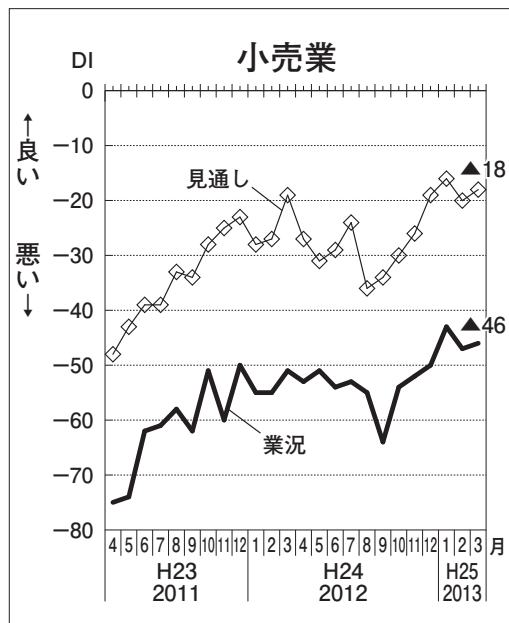
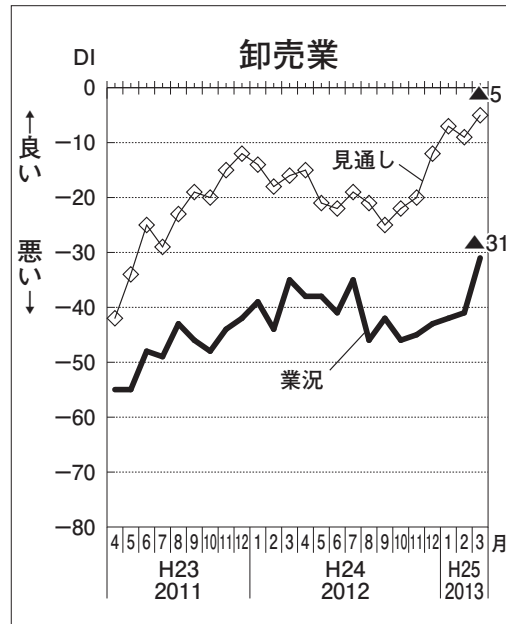
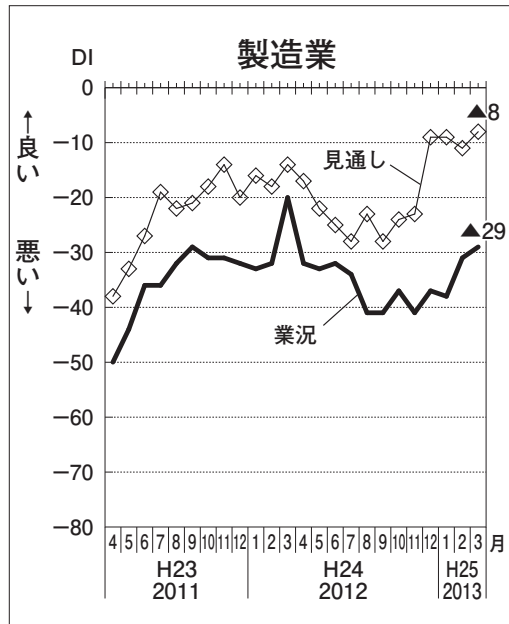
調査規模	調査対象企業数	3月の景況						今後3か月間の見通し		
	回答企業数	業	売(前上月比)高	売(前年同月比)高	仕(前月比)単価	販(前月比)単価	製品商品在庫	業(当月比)況	売(当月比)高	売(前年同期比)高
	回答率	況	高	高	価	庫	況	高	高	
全体	3,875	▲30	▲15	▲32	9	▲6	9	▲10	▲6	▲29
製造業	1,423	▲29	▲11	▲37	14	▲4	8	▲8	▲5	▲31
卸売業	36.7%	▲31	▲12	▲31	13	▲4	10	▲5	1	▲24
小売業		▲46	▲30	▲42	▲5	▲9	9	▲18	▲11	▲36
サービス業		▲17	▲11	▲18	—	▲10	—	▲10	▲8	▲26
企業関連サービス		▲14	▲7	▲12	—	▲8	—	▲5	▲4	▲22
個人関連サービス		▲23	▲22	▲33	—	▲13	—	▲19	▲19	▲35
衣料・身の回り品		▲32	▲16	▲52	13	▲6	0	▲1	▲3	▲35
住宅・建物関連		▲19	20	▲23	35	▲2	7	▲10	▲5	▲6
紙・印刷		▲32	▲15	▲31	5	▲11	11	▲24	▲22	▲44
材料・部品		▲39	▲18	▲44	16	0	9	▲14	▲8	▲37
一般・精密機械等		▲31	▲5	▲33	7	0	8	▲5	1	▲27
電気機器		▲17	▲12	▲32	12	▲10	8	12	9	▲23
その他		▲15	▲14	▲21	34	6	14	▲17	▲10	▲21
衣料・身の回り品		▲41	▲15	▲35	18	▲10	9	▲21	▲11	▲33
食料品		▲43	▲4	▲28	11	1	12	▲14	▲8	▲31
日用雑貨		▲34	▲20	▲36	19	▲5	23	▲12	▲8	▲31
建築・住宅関連		▲30	▲12	▲16	17	2	10	▲5	0	▲13
化学・金属材料		▲24	▲8	▲41	14	▲1	7	7	15	▲25
機械器具		▲23	▲14	▲28	2	▲9	1	6	10	▲16
衣料・身の回り品		▲33	▲16	▲32	▲7	▲11	8	▲5	7	▲20
食料品		▲68	▲46	▲63	▲2	▲8	10	▲27	▲25	▲55
日用雑貨		▲30	▲20	▲30	▲1	▲15	12	▲29	▲22	▲28
耐久消費財		▲51	▲33	▲40	▲3	▲7	5	▲13	▲3	▲43
余暇関連		▲40	▲38	▲38	▲11	▲3	7	▲17	▲13	▲37

- (注) 1. 調査項目: 業況(良い・普通・悪い)、売上高(増加・ほぼ同様・減少)、仕入単価・販売単価(上昇・ほぼ同様・低下)、製品商品在庫(過大・適正・不足)。
 2. 売上高: 製造業は生産額。
 3. 販売単価: サービス業は料金単価。

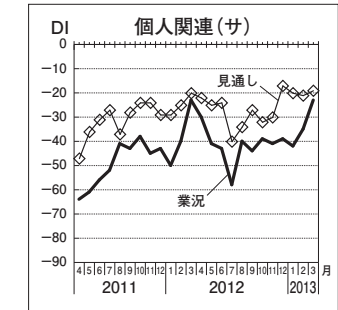
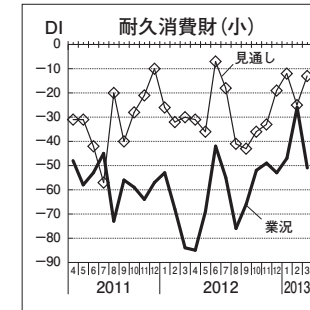
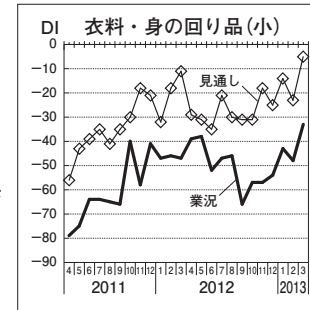
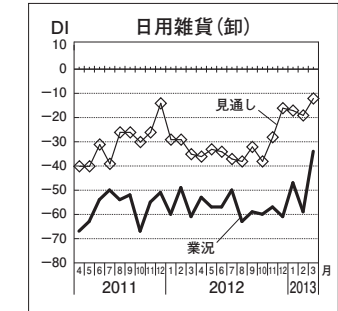
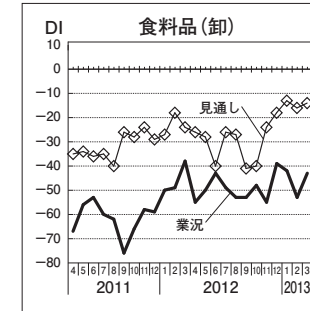
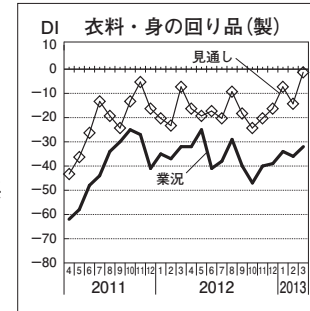
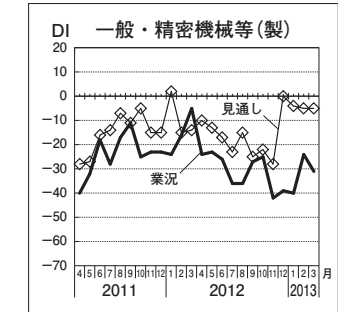
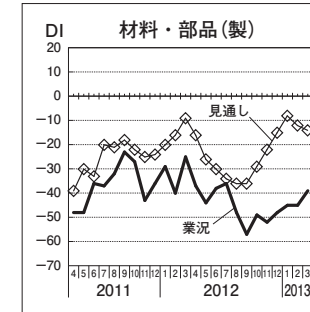
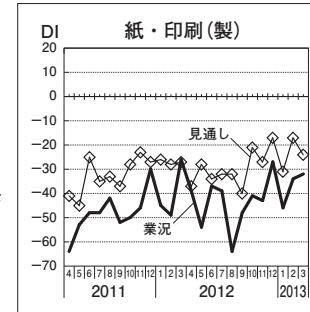
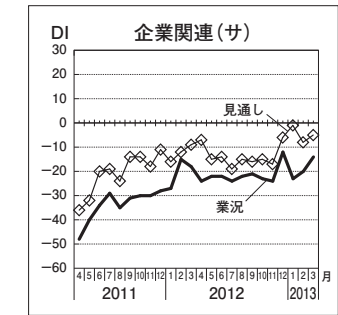
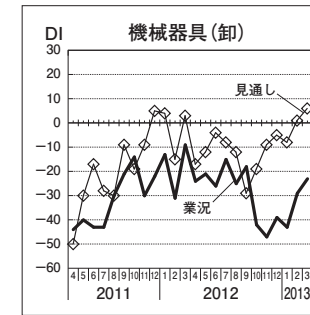
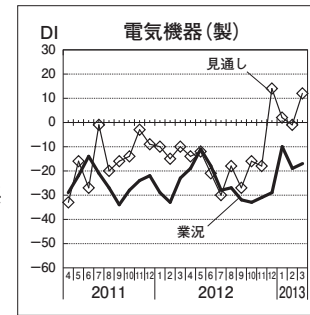
回答企業数

	対象数	回答数	回答率		対象数	回答数	回答率
全体	3,875社	1,423社	36.7%	小規模	1,432社	551社	38.5%
製造業	1,125社	435社	38.7%	中小規模	683社	307社	44.9%
卸売業	875社	379社	43.3%	中規模	822社	332社	40.4%
小売業	875社	265社	30.3%	大規模	537社	225社	41.9%
サービス業	1,000社	344社	34.4%	規模不明	401社	8社	2.0%

業種別：DI グラフ



業種区分別：DI グラフ



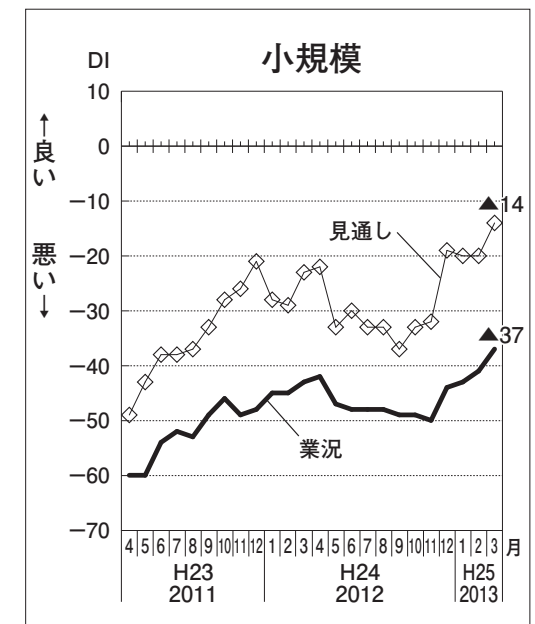
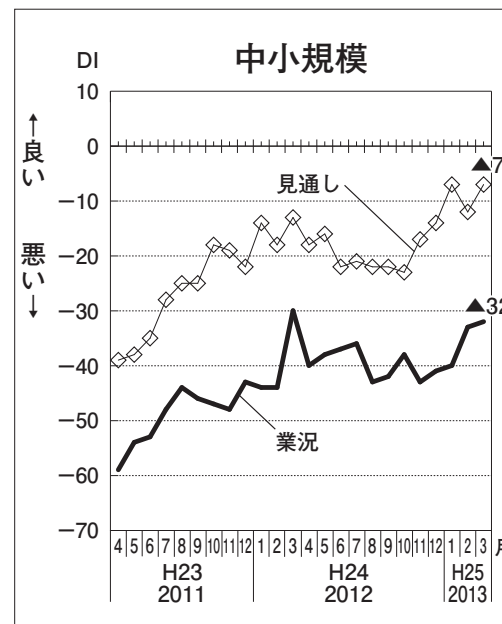
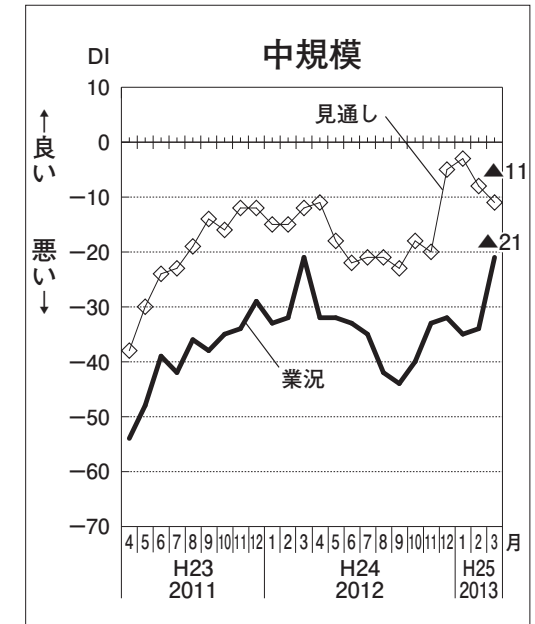
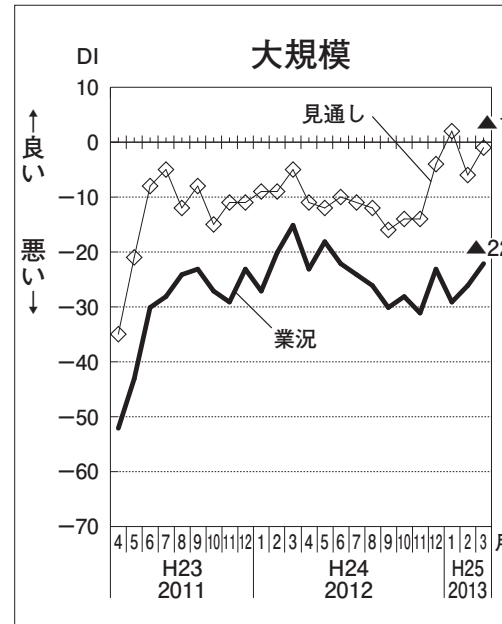
注) 季節調整済DI

注) 紙面の都合上、一部の業種区分のみ掲載しています。季節調整済DI。
(製)：製造業・(卸)：卸売業・(小)：小売業・(サ)：サービス業

《 規模別景況 》

- 3月の業況DIを規模別にみると、全規模で改善した。「大規模」(▲26→▲22)は2か月連続で改善し12月(▲23)の水準に戻した。「中規模」(▲34→▲21)は大きく改善。「中小規模」(▲33→▲32)は前月までの3か月連続の改善から、横ばいとなった。「小規模」(▲41→▲37)は4ポイント改善し、長く続いた弱含みから上向いた。
- 前年同月比売上高DIを規模別にみると、全規模で改善した。特に「中小規模」(▲38→▲28)は2007年3月(▲28)の水準、「小規模」(▲42→▲37)は2007年4月(▲36)の水準に並んだほか、「大規模」(▲31→▲25)と「中規模」(▲38→▲32)も着実に歩を進めた。
- 当月と比べた今後3か月間(4~6月)の業況見通しDIを規模別にみると、「大規模」(▲6→▲1)は再び水面をうかがう動きとなった。「中規模」(▲8→▲11)は2か月連続で悪化し、見通しに対する期待感が後退しつつある。「中小規模」(▲12→▲7)は前々月の水準に戻した。一方、昨年12月より足踏みが続いた「小規模」(▲20→▲14)は、6ポイント改善、一歩踏み出す形となった。

規模別：DI グラフ



景況指数表 (規模)

・指標値 (%) : DI = 「良い」・「増加」等企業割合 - 「悪い」・「減少」等企業割合

調査規模	調査対象企業数	3,875	3月の景況						今後3か月間の見通し		
	回答企業数	1,423	業況	売上(前月上月比)	売上(前年同月比)	仕入(前月単価)	販売(前月単価)	製品商品在庫	業況(当月比)	売上(当月上月比)	売上(前年同期比)
	回答率	36.7%	況	高	高	単価	単価	庫	況	高	高
全体			▲30	▲15	▲32	9	▲6	9	▲10	▲6	▲29
規模	小規模		▲37	▲28	▲37	5	▲8	3	▲14	▲8	▲38
	中小規模		▲32	▲15	▲28	14	▲3	10	▲7	▲3	▲24
	中規模		▲21	▲4	▲32	10	▲7	13	▲11	▲7	▲26
	大規模		▲22	2	▲25	9	▲4	14	▲1	▲1	▲19

(注) 規模小規模：1~9人(製造業、卸売業、サービス業)、1~2人(小売業)
 中小規模：10~19人(製造業、卸売業、サービス業)、3~4人(小売業)
 中規模：20~49人(製造業、卸売業、サービス業)、5~19人(小売業)
 大規模：50人以上(製造業、卸売業、サービス業)、20人以上(小売業)

注) 季節調整済DI